



山梨大学 | 新技術情報クラブ |



～ コーディネータコラム ～ 2021/3/1



【令02-23号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

社会連携・知財管理センター
地域連携コーディネータ 内藤 富美晴

新技術情報クラブの皆さま、こんにちは。地域連携コーディネータの内藤富美晴です。

厳冬期が過ぎて、梅の花が香り少しずつではありますが春の兆しを感じる時期になってきました。

新型コロナウイルスですが、感染の拡大が始まってからすでに1年が経過しました。

この間本ウイルスに関する研究も進み、様々な対策に取り組んできましたが、未だ終息の兆しが見えてまいりません。

ワクチンが開発され、日本でも2月半ばから医療従事者を中心に摂取が始まりましたが、国民全体にワクチンが行き渡るまでには、まだ時間がかかりそうで、現状のライフスタイルが当面続くことを覚悟する必要があるようです。

経済面に目を転じてみますと、国内の企業業績に大きな影響が出ています。

2月の初めにある大手証券会社から2021年3月決算第3四半期(12月)の企

業(約700社)業績に関する分析結果が公表されました。それによりますと、最終的な利益が「増益」の企業は41%、減益は43%、最終赤字は

14%となり、最終利益全体では、前年同期比 25%減少するたいへん厳しい見通しのようです。

業種別に見ますと、コロナの影響で外出自粛により航空各社をはじめ、運輸、外食、ホテル・旅館、エンターテインメント、アパレル関連分野などが大幅な減益となる一方、テレワークの推進や巣籠需要の高まりで、IT 関連、通信、半導体、化学、ゲーム機器や家電などの分野が大幅に伸長するなど、業績の 2 極化が鮮明になっています。

コロナ渦でも需要を取り込める企業は業績を伸ばせるが、そうでない企業にとっては厳しい経済環境となっているのです。

また、コロナ渦で私たちの勤務形態も大きな影響を受けました。政府は感染防止対策に乗じて働き改革を提唱し、企業も在宅勤務やテレワークの導入を進めています。

その結果、首都圏を中心に不動産市況の動向にも変化が出てきており、ワークスペースを備えた広い家への需要が高まり、郊外や地方へ注目が集まっているようです。

加えて、ワーケーションなど、2 拠点居住のライフスタイルを指向する人も増加しており、この流れは空き家が多く首都圏に近い山梨県にとっては絶好のチャンスです。

これからは、このようにコロナによって生じた企業格差やライフスタイルの変化等の影響をしっかりと分析し、アフターコロナを見据えた戦略の策定が必要となるでしょう。

さて、本学では 2 月 9 日に令和 2 年度「医療機器産業技術人材育成講座」

の閉講式が行われ、修了生 19 名に修了証書・認定証が授与されました。本講座は、本学と山梨県が安定的な成長が見込まれる医療機器産業への県内企業の参入促進を目的に、社会人を対象に平成 27 年から本学が持つ

ノウハウを活用し、設計技術者を養成する講座(やまなし地域活性化雇用創造プロジェクト)として毎年開催されてきました。

(開催期間：毎年 4 月から翌年 2 月(全 80 コマ、120 時間))

また、閉講式に先立ち 2 月 2 日には、本講座の受講生(3 グループ)による

終了発表会が開催され、それぞれのテーマで研究開発に取り組んできた成果報告を私も拝聴させていただきました。

これまで本講座開講以来何度か受講生の成果報告を拝聴する機会がありましたが、年を追うごとにテーマの斬新性や機器の設計・試作の完成度が高くなっていることがわかります。

このコロナ渦で困難な状況のなか、予定通り無事終了を迎えられました

受講生のみなさま、それを支えられたスタッフの皆さまに敬意を表したいと思います。

すでに本講座の受講生は開講以来累計で 100 名を超えましたが、この取り組みによって将来、新しい医療機器等が生まれることを大いに期待しています。

インフォメーション 目次

- 01： プレスリリース (1 件)
- 01： イベント (1 件)
- 02： セミナー情報 (1 件)
- 03： 助成事業および公募情報 (2 件)
- 04： 事務局からのお知らせ



- 01 プレスリリース (1 件)
-

◆急性リンパ性白血病に対する治療薬のゲノム薬理学的な効果を解明
—個別化治療への道を拓く成果—

本学医学部小児学講座と社会学講座の共同研究チームは、スウェーデンの Uppsala 大学と英国の Wellcome Sanger 研究所をはじめとする国内

外の研究施設との国際共同研究によって、小児がんで最も多い急性リンパ性白血病に対する基本治療薬であるアスパラギナーゼの作用を、ゲノム薬理学的に明らかにしました。

研究内容など詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/wpcontent/uploads/2021/02/20210222press.pdf>



- 02 イベント (1 件)
-

◆山梨大学・北杜市連携事業「J.S.バッハ《マタイ受難曲》演奏会」
のご案内

本学教育学部の片野耕喜教授を中心としたマタイ受難曲演奏会実行委員会は、北杜市教育委員会との共催で「J.S.バッハ《マタイ受難曲》演奏会」を開催します。

ドイツ・バロック音楽を代表する音楽家である J.S.バッハの最高傑作とも名高いマタイ受難曲。二重合唱・二重オーケストラの編成、さらには演奏困難な古楽器群が必要となるため、地方での完全上演は稀な曲ですが、声楽家である片野教授の演奏仲間を中心に多くの共演者の協力を得て演奏会の開催が実現しました。

この機会に是非ご来場ください。

日 時：令和 3 年 3 月 14 日(日) 14 時開演

場 所：YCC 県民文化ホール 小ホール

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/29793>



■02 セミナー情報 (1 件)

◆【山梨県中小企業団体中央会】事業継承セミナー
多様化する事業継承策 貴方の会社にマッチする方法は？
～組合員間の企業連携・合同による事業継続の可能性～

今回はこれまでの事業継承セミナーとは切り口を替え、第三者継承が増えている実態から、新たに中小企業者同士の連携から生まれる新たな事業継続の可能性など、内外の事例を交えて事業継承において指導事例の多い特に熱心な専門家からお話を伺います。

日 時：令和 3 年 3 月 23 日(火) 15:00～17:00

場 所：①山梨県中小企業団体中央会研修室

②Zoom による Web 参加

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/wp-content/uploads/2021/02/7ae73397e50ecab9b7733478b858c8a6.pdf>



◆【やまなし未来計画】令和3年度「Miraiプロジェクト」募集開始

「Mirai プロジェクト」とは、民間企業・団体、自治体と学生が、ともに地域の新たな未来を探るプロジェクトです。企業・団体、自治体は学生のアイデアやマンパワーを活用し、プロジェクトを進めることができ、学生は実際の仕事に触れることで、地域で働くことへの可能性を見出すことができます。

ぜひ、この機会に学生と一緒に新しいプロジェクトをはじめてみませんか。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://miraiken.yamanashi.jp/news/3476/>

◆【市村清新技術財団】「新技術開発助成」第1次募集要項公開開始

市村清新技術財団は広く科学技術に関する独創的な研究や新技術を開発し、これを実用化することによって我が国の産業・科学技術の新分野等を醸成開拓し、国民生活の向上に寄与することを目的としています。本助成は、基本的技術に確認が終了し、実用化を目的とした開発試作を対象としており、年2回助成しています。その第1次募集の募集要項の公開が開始されました。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.sgkz.or.jp/project/newtech/download/outline.html>



～会員会社様へ課題を伺いいたします～

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。

訪問もしくは Web による面談により、会員企業様の持っておられる技術課題をお伺いいたします。

ご希望の会員企業様がございましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

